

## シャイアー、バクスアルタとの合併を完了 希少疾患および特殊疾患における世界のリーディング・カンパニーに

- **合併により、年間売上における2桁成長が見込まれ、2020年までに年間売上高は200億ドルを超える見込み**
- **即時的な影響として、年間売上高合計の約65%が、希少疾患ポートフォリオから得られる見込み**
- **世界規模の事業展開と最高クラスの製品群拡充により、重大なアンメットメディカルニーズのある患者さんに、さらなる貢献を実現する可能性**
- **充実した革新的パイプラインで、次世代の治療法の開発を推進**

アイルランド、ダブリン – 2016年6月3日 – シャイアー plc (LSE: SHP、NASDAQ: SHPG) は本日、以前発表しましたバクスアルタ・インコーポレーテッド (NYSE: BXLT) との合併を完了し、希少疾患および特殊疾患の領域を専門とする、世界的なバイオテクノロジーのリーディング・カンパニーとなりました。

この合併により、シャイアーでは年間売上成長率の2桁成長が見込まれます。2020年までに年間売上高は200億ドルを超え、年間売上高合計の約65%がただちに希少疾患ポートフォリオから得られる見込みです。現在、シャイアーで臨床開発中のプログラムは50を超え、初期、中期、後期のプロジェクトからバランス良く構成されています。

100カ国以上に22,000名以上の社員を擁するシャイアーは、世界規模の事業展開と最高クラスの製品群の拡充により、重大なアンメットメディカルニーズのある患者さんに、一層貢献して参ります。

シャイアーの最高経営責任者 (CEO) であるフレミング・オルンスコフ (Flemming Ornskov) (医学博士、公衆衛生学修士) は、「バクスアルタとの合併完了により、シャイアーは売上とパイプラインで、トップの希少疾患プラットフォームを有する、世界的なリーディング・カンパニーとなります。最高クラスの製品群と充実した革新的なポートフォリオを持ち、複数のフランチャイズを基盤とするシャイアーは、患者さんを第一に考え、革新的で持続可能な成長を目指していきます。」と述べています。

オルンスコフはさらに、「社員に不安を与えず、そして患者さんへのサポートや取引先の方々との業務にこれまで通り注力するため、合併発表以降の統合業務については、ベンチマークであった同規模の合併案件より早いスピードで進めています。新しい組織では、有能かつ経験豊富な経営陣が新たに加わり、目標の達成に向け組織を牽引することとなります。今回の合併は、患者さんや医療関係者の方々、さらには社員にかつてないほどの大きな可能性をもたらし、株主の方々にもさらなる価値をもたらすものとなります」と話しています。

合併完了の結果：

- 2016年4月18日付けで、ゲイル・D・フォスラー (Gail D. Fosler) とアルバート・P・L・ストローク (Albert P.L. Stroucke) がシャイアーの取締役会メンバーに任命されたことを発表しました。

- バクスアルタの株主は、バクスアルタ 1 株につき現金で 18.00ドルとシャイアー0.1482ADS (または、バクスアルタの株主が普通株式の受け取りを有効に選択した場合、シャイアーの普通株式 0.04446 株)を受け取ります。
- バクスアルタは、シャイアーの間接的な完全子会社となりました。
- シャイアーは、バクスアルタの発行済み優先債の保有者に対しバクスアルタの債務を完全かつ無条件に保証します。

合併後の会社の効率的な運営構造により、合併後の最初の 3 年間で年間 5 億ドル以上の業務コストシナジー効果が生じるものと予想されます。さらにシャイアーには、2017 年までに追加の売上シナジー効果が生まれ、合併後の非 GAAP 実効税率は 16~17%となるものと予想しています。合併により、初年度 2017 年の非 GAAP 希薄化後 EPS は徐々に増加し、以後は 2020 年のシャイアーの資本コストを上回る魅力的な投下資本利益率を実現するものと予想されます。

2016 年の財務ガイダンスおよび更新された 3 年間のシナジー目標を含む、合併後の新会社の強みの詳細については、2016 年 8 月 2 日に予定されているシャイアーの第 2 四半期収益高カンファレンスコールでお知らせいたします。シャイアーはまた、2016 年 11 月 10 日に、ニューヨークで投資家を対象とした説明会 (Investor Day) を開催する予定です。その席で、研究開発ポートフォリオとバクスアルタの営利事業の概要についてお知らせいたします。

詳細については、[Shire.com](http://Shire.com) もご覧ください。

## シャイアーについて

シャイアーは希少疾患および特殊疾患領域を専門とする、世界的なバイオテクノロジーのリーディング・カンパニーです。当社は100カ国以上で、主要な治療分野である血液、免疫、神経科、ライソゾーム病、消化器／内科／内分泌、および遺伝性血管性浮腫において、最高クラスの製品群を有しています。成長中の腫瘍領域フランチャイズと、新しい革新的な眼科領域のパイプラインも抱えています。

当社の社員は日々、共通の使命を持って仕事に取り組んでいます。その使命とは、希少疾患などニーズの差し迫った疾患を抱えていたり、効果的な治療法がなく満足な生活を送ることのできていなかったりする、世界中の何億もの患者さんのために、現状を打開する治療法を開発し提供することです。

[www.shire.com](http://www.shire.com)

## 本件に関するお問い合わせ先

シャイアー・ジャパン株式会社	03-6737-0028
広報担当	
広報代行(株)プラップジャパン	<a href="mailto:shirejapan@ml.prap.co.jp">shirejapan@ml.prap.co.jp</a> 03-4580-9106
高柳駿介／田村章	

詳細については、以下までお問い合わせください。

## シャイアー

### 投資家向け広報

Sarah Elton-Farr	<a href="mailto:seltonfarr@shire.com">seltonfarr@shire.com</a>	+44 1256 894157
Robert Coates	<a href="mailto:rcoates@shire.com">rcoates@shire.com</a>	+44 1256 894874
Ian Karp	<a href="mailto:ikarp@shire.com">ikarp@shire.com</a>	+1 781 482 9018

### メディア

Gwen Fisher	<a href="mailto:gfisher@shire.com">gfisher@shire.com</a>	+1 781 482 9649
Geoffrey Mogilner	<a href="mailto:geoffrey.mogilner@shire.com">geoffrey.mogilner@shire.com</a>	+1 224 940 8619
Brooke Clarke	<a href="mailto:brclarke@shire.com">brclarke@shire.com</a>	+44 1256 894829

## FTI Consulting(当社のメディアアドバイザー)

Ben Atwell(ロンドン)	<a href="mailto:ben.atwell@fticonsulting.com">ben.atwell@fticonsulting.com</a>	+44 20 3727 1000
David Roady(ニューヨーク)	<a href="mailto:david.roady@fticonsulting.com">david.roady@fticonsulting.com</a>	+1 212 850 5600
Robert Stanislaro(ニューヨーク)	<a href="mailto:robert.stanislaro@fticonsulting.com">robert.stanislaro@fticonsulting.com</a>	+1 212 850 5600

## 将来の見通しに関する記述

バクスアルタとの合併の財務および戦略面での利益に関する発表および、2020年までに合併後の製品売上 200 億ドルを目標とする 20x20 目標、合併後の会社の将来の決算および資本構成、業績、持続可能性、合併後の戦略および計画、といった、過去の事実とは異なる本書での記述は、将来の見通しに関する記述です。当該の将来の見通しに関する記述にはリスクおよび不確実な点があり、随時変更される場合があります。そうしたリスクまたは不確実な点が現れた場合、シャイアーの業績は多大な悪影響を被る可能性があります。リスクおよび不確実な点には、次のものが含まれますが、それらに限定されません。

- バクスアルタの買収および統合による中断で、業務を通常どおり行う、もしくは患者さんや医師、従業員、サプライヤーとの関係維持が困難になる
- 会社が、バクスアルタの Baxter International Inc.(バクスター)からのスピンオフで予想される利益の一部または全部が実現されず、買収が取引や製造、供給サービス、税金に関連する取り決めを含む、バクスターとのバクスアルタの既存の取り決めに悪影響を及ぼす
- バクスアルタの買収に関する戦略目標を実現できないことで、当社の財務状況および経営成績に悪影響が生じる
- 製品および製品の候補が商業的成功を収めることができない
- ADDERALL XR および INTUNIV の製品売上が、ジェネリック医薬品の競争の対象となる
- 当社の製品について、時宜を得て第三者支払人からの払い戻しもしくは適切な水準の払い戻しを受けるまたは維持することができないことで、特に希少疾病治療用の製品の価格にプレッシャーがかかった場合、将来の売上や財務状況、経営成績に影響が生じる
- サプライチェーンや製造が中断したことで、影響を受ける製品の売り上げが減少し、競合他社の販売攻勢が強まる。製品承認または、製造施設や成分、製造工程の変更に関連する規制措置により、多大な遅延や運営費の増大、製品売上の喪失、研究活動の中断、新製品上市の遅延が生じる可能性がある
- 様々な段階の研究開発での製品開発が成功するかどうかは極めて不確実であり、多大な支出と時間を要し、そうした製品が規制承認を得られる保証はない
- 一部の顧客の行動により、当社が製品の販売やマーケティングで利益を上げられなくなる可能性があり、そうした顧客購買および流通パターンの変動により、当社の売上や財務状況、経営成績に悪影響が生じる
- 当社が業務を行う極めて規制の強い市場での当社の活動に関連する、規制当局または法執行機関による調査または強制措置により、多額の訴訟費用や多額の報酬、罰金の支払が生じる
- 特許およびその他の知的財産権を執行および擁護する会社の能力を含む、法律問題、税務調査、およびその他の紛議における不利な結果が、当社の売上や財務状況、経営成績に悪影響が生じる可能性がある
- シャイアーは企業再編を進めており、実現しなかった買収提案の対象であった。それに伴う不確実な点により、当社の戦略目標実現に必要な技能の高い人材の獲得および/または保持に悪影響が生じる可能性がある
- NPS Pharmaceuticals Inc.または Dyax Corp.(「Dyax」)のシャイアーによる買収に関する戦略目標を実現できないことで、当社の財務状況および経営成績に悪影響が生じる
- 当社は情報技術に依存しており、システムおよびインフラストラクチャは、当社の売上や財務状況および経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性のあるサービスの中断や部外秘、機密情報の喪失、サイ

- バー攻撃やその他のセキュリティ侵害、データ漏洩を含む特定のリスクに直面している
- 当社が主要な人材の保持および採用を行えない、および/または顧客やサプライヤー、その他の業務パートナーとの関係を維持できない
- シャイアーへの Dyax またはバクスアルタの統合が困難なことで、想定時に予想された業務の効率化やコスト削減、売上拡大、シナジー効果、その他のメリットを一部または全部実現できなくなる

その他のリスクおよび不確実な点は、2015年の12月期のForm 10-Kにある、シャイアーおよびバクスアルタの年次報告書の「項目 1A:リスク要因」に記載されたリスクを含む、証券取引委員会に随時提出されるシャイアーまたはDyax、バクスアルタの書類に詳細に記載されています。

当社または当社に代わり活動する人物に起因するすべての将来の見通しに関する記述は、本注意書きによりすべて明示的に適格なものとなります。本書作成時点の状況のみを扱う将来の見通しに関する記述に、過度に依存しないよう注意してください。適用される法律で別途必要とされる場合を除き、当社は改訂版の将来の見通しに関する記述を再度発表し、本書作成日以後の事象または状況を反映させる、もしくは想定外の事象の発生を反映させる義務を負いません。